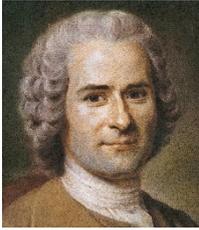


[参考] フランス革命とナポレオンに関する資料



◆ ルソー (1712~1778)

ルソーは、自由と平等を実現するためには、主権者である一般の人々の権利を守る国家をつくり、社会全体の利益をめざした政治を行うべきであると説きました。



◆ マリー・アントワネット (1755~1793)

オーストリアの王女。1770年、14歳のときに、フランスの王太子ルイ（後のルイ16世）と結婚し、華やかな宮廷生活を送りました。フランス革命の際、母国オーストリアに逃げようとするがとらえられました。1793年1月に夫のルイ16世がギロチンで処刑され、彼女も同年10月に処刑されました。



◆ ラ・マルセイエーズ (フランス国歌)

1792年にフランスがオーストリアと戦争することとなったとき、ストラスブールの市長がライン部隊のために、ルジェ・ド・リールという大尉に行進曲の作曲を依頼した。

パリで行われた連盟祭のときに遠く離れたマルセイユからやってきた義勇兵が、行進するときこの曲を使ったところ大評判になった。その後、多くの人々に歌われるようになり、「ラ・マルセイエーズ」と呼ばれるようになった。

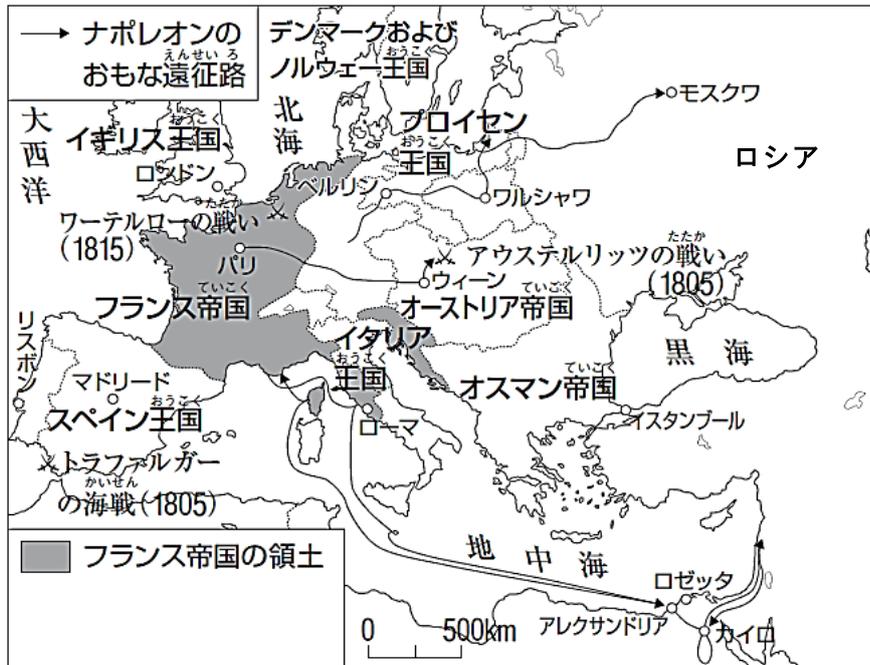


◆ 人権宣言 (1789年8月制定)

1. 人間は、生まれながらにして自由かつ平等な権利をもっている。
3. すべて主権は、本来国民にある。
5. 法律は、社会に有害なことだけを禁止する。だれもが、法律にないことを強制されない。
11. 思想と言論の自由は、人間の最も貴重な権利の一つである。

◆ ナポレオン (1769~1821)

コルシカ島の貧乏貴族の家に生まれた。フランス本土の兵学校に入り軍人となる。フランス革命をつぶそうとする外国との戦いで活躍したことで人気が高まる。1804年に国民投票を行い、自ら皇帝となる。



- ◎ 1793年1月にフランス国王「ルイ16世」が処刑されたことで、周辺のヨーロッパ諸国は、自分の国に自由・平等の革命思想が伝わってくることをおそれた。
- ◎ そこで、周辺の国々はフランス革命やナポレオンの政府をたおすために、同盟を結び、たびたびフランスと戦った。
 - *イギリス、ロシア、オーストリア、プロイセン、スペイン、スウェーデン
- ◎ フランスのピンチを救ったのがナポレオンで、彼は周辺の国々との戦争に次々と勝利し、一時期はヨーロッパの大部分を支配した。
- ◎ 支配地域では、フランス革命の影響を受けて、自由・平等の考えが広まった。
- ◎ ナポレオンはロシアへの大遠征を行ったが、大失敗に終わる。
- ◎ 1814年にイギリス、オーストリア、ロシア、プロイセン、スウェーデンの連合軍に負け、ナポレオンはエルバ島という小さな島へ島流しにされた。